



犀陵だより

平成 27 年 7 月 28 日

実り多き宿泊学習

一学期が終わります。7月には、1・2年生が宿泊学習に行ってきました。事前の準備や練習からいろいろ学び、それを生かすことのできた体験学習でした。1年生では、学年クラスマッチを企画し、入学してから3ヶ月半ですばらしい学級の団結力を見せてくれました。2年生では、係を中心に全体がしっかり計画された時間で行動できるという実行力を見せてくれました。



『1年高遠の大縄クラスマッチ』

大縄が苦手な◇◇さん。でもみんなの声援に後押しされて大縄を跳べた時、クラスみんなが大喜び。縄を回していた△△さんが、担任の先生に「あのペースで◇◇さんが跳べました！」と自分のことのように喜ぶ笑顔がとてもすてきでした。

軍手リレーではルールがよくわからなくなってしまう△△君。「～こうするんだよ」「早く！違う違う！」などとクラスのみんな。その応援は決して怒った様ではなく、さりげなく声をかけられる心の持ち様は中1とは思えませんでした。



『2年八ヶ岳にみた感謝・日常の大事さ』

食事係の○○君。一日目の夕食の片付けを自分の班だけでなく、1組全体をそろえていました。片付けにきたホテルスタッフの方にも「ごちそうさまでした」の挨拶。感謝していただくという気持ちが表れていました。

□□君はジャムショップでセロリジャム作りを体験。使った食器をすぐに片付けたり台を拭いたり、手際よさにジャムの講師の先生もびっくり。家でもお手伝いをやっているとのこと。日常って大事だなあと感じました。

授業を追って

本年度の全校研究テーマ

「学ぶ意欲を高めしていく学校の創造 ～学び合うよさと自らの高まりを実感する生徒～」

このテーマを目標に、6月8日（月）には人権教育、19日（金）には技術・家庭科教育の授業を行いました。人権教育では、直接友だちと話し合う場面はありませんでしたが、生徒一人ひとりが資料の中に登場する中学生と対話し、その登場人物の心を「人権」という視点から全員で話し合いました。技術では「ペン立てを作るために金属板をどうやってまっすぐ弓のこで切ったらよいか」、家庭科では「ハーフパンツのポケットの△の部分より正確にミシンで縫うにはどうし



たらよいか」を課題に、ペアで助け合いながら作業を進めるという授業を行いました。「誰にでもアドバイスできる」「気軽に助けてもらえる」というより好ましい人間関係は、授業のみならずあらゆるところで必要不可欠な社会的資質でもあります。

どの授業も指導主事の先生を招き全校職員で研修しましたが、中学校は専門教科がそれぞれ異なるため、下記のような共通した4Kの視点を定めて授業を参観しました。

- ①「聞く」(聴く) = ㊦ IKU
- ②「考える」 = ㊦ ANGAERU
- ③「かかわり合う」 = ㊦ AKAWAR I AU
- ④「活動する」 = ㊦ ATUDOUSURU

(市教育センター所長 栗林秀夫先生より)

さらに2学期は全校研究として以下のように進めていきます。

10月22日(木) 技術・家庭科教育課程研究協議会

10月28日(水) 数学全校研究授業

11月18日(水) 北長野ブロック人権教育公開授業

また、該当以外の先生方は校内で公開授業を行い、研究を推進していく予定です。



第8回 県清掃サミット in 犀陵中

長野便教会主催

日本を美しくする会・小布施掃除に学ぶ会後援

トイレがピッカピカになってる～♪

7月26日(日)、県中学生清掃サミットが犀陵中を会場に開催されました。北信地方を中心に遠くは佐久からも中学生が参加し、主催者をはじめ、中学生、教職員など、約110名が犀陵中に集まり、午前中は素手で犀陵中のトイレを2時間掃除、午後は清掃についてのグループディスカッションが行われました。中には中学生の時に清掃サミットにはまり、それ以後4年間参加しているという高校生やはるばる福岡から清掃サミットを学びに来たという先生もいました。

「最初、便器の中に素手で手を突っ込むのはとてもいやだったけれど、やってみるとどんどんきれいになっていくのがわかり、時間があっという間に過ぎてしまいました」と感想を述べる生徒。便器だけでなく、床や壁はもちろんのこと、換気扇や照明器具のカバーまで徹底的に洗い、こびりついた汚れと臭いを落としました。

明日からは、今まで以上に「トイレをきれいに使いましょ！」



ご家庭でもご注意を！！

交通安全・・・特に自転車の乗り方について

県下で中学生の交通事故が後を絶ちません。気が緩みがちな夏休みです。特に以下の点については、保護者の皆様にもご指導・ご協力を是非お願いします。

- 飛び出しは絶対しない。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットを必ずかぶる。